

長大橋の適切な保全

本州四国連絡高速道路株式会社

Honshu-Shikoku Bridge Expressway Company Limited

平成15年12月22日

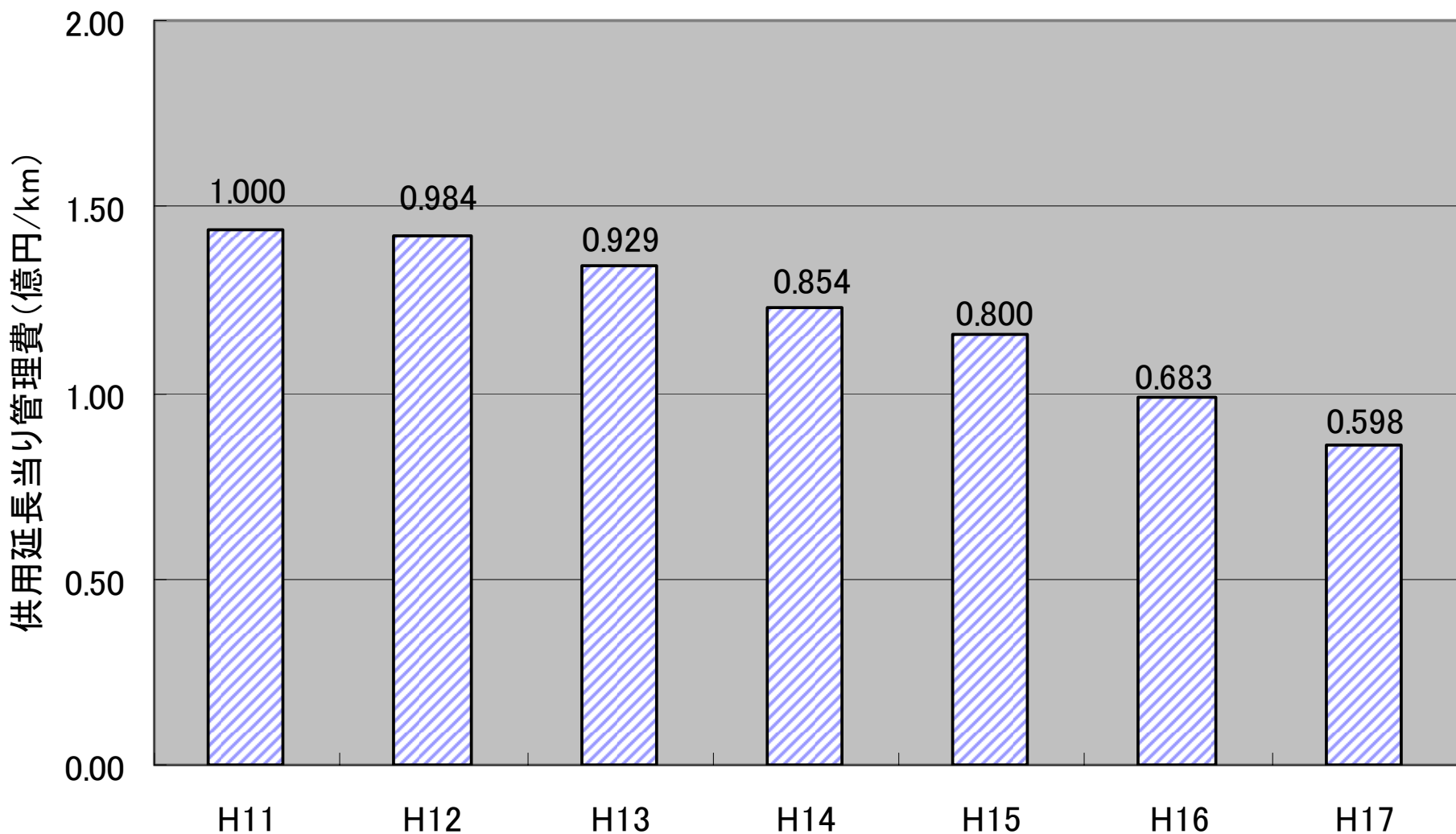
「道路関係四公団民営化の基本的枠組みについて」政府・与党申し合わせ

2. 民営化に向けた有料道路の対象事業等の見直し

(2) 建設コストを含めた有料道路事業費の縮減

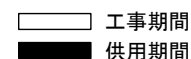
- ③管理費については、平成17年度までに、3割のコスト縮減(対平成14年度)を図る。民営化後は、民間の知恵を発揮し、更なるコスト縮減に努めるものとする。また、長大橋の適切な保全に配慮する。

本四3ルート概成のH11から約4割のコスト削減を実施



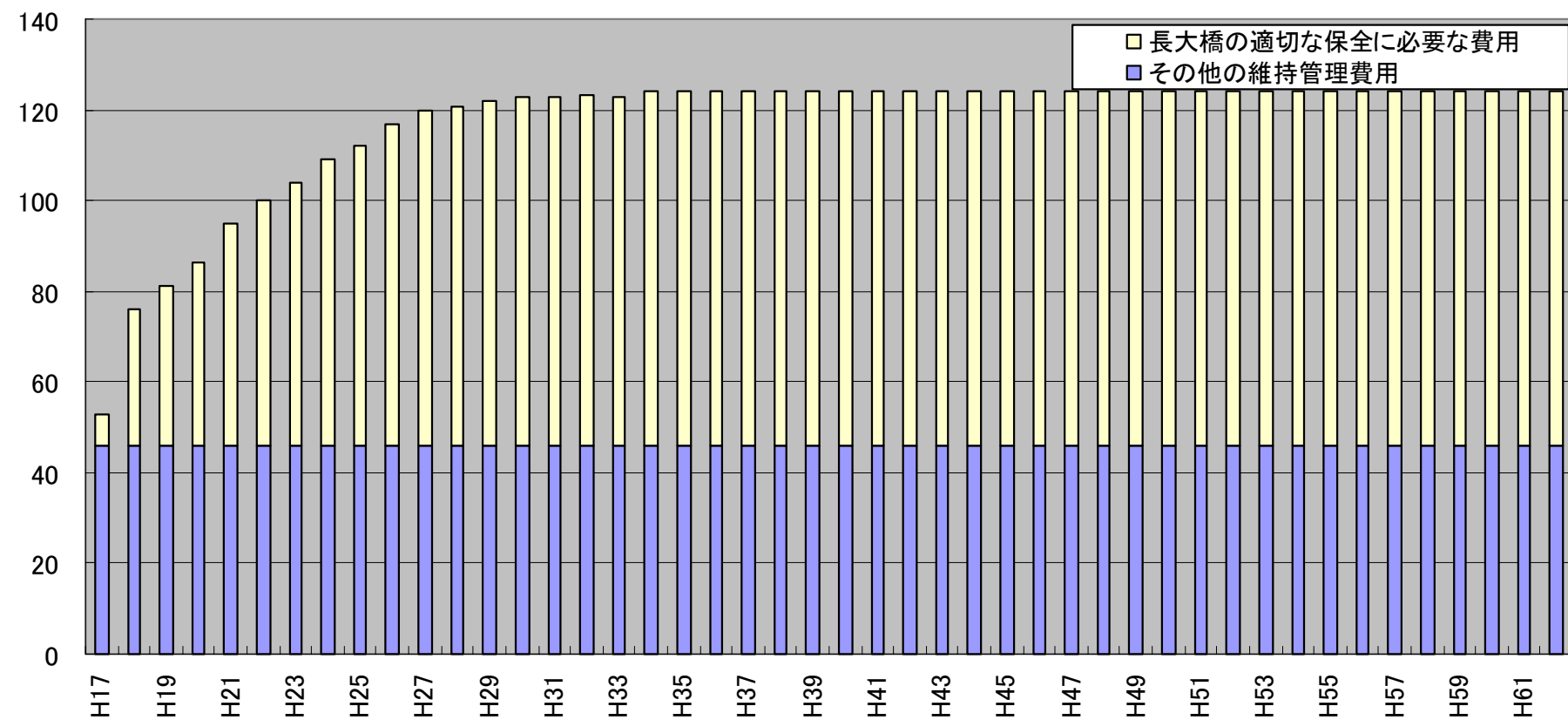
※管理費とは、政府与党申し合わせにおけるコスト削減3割対象経費をいう。

本州四国連絡橋は、今後本格的な維持管理の時代

[illegible]

長大橋の適切な維持管理を行うには、今後の費用増加は避けられない。

億円

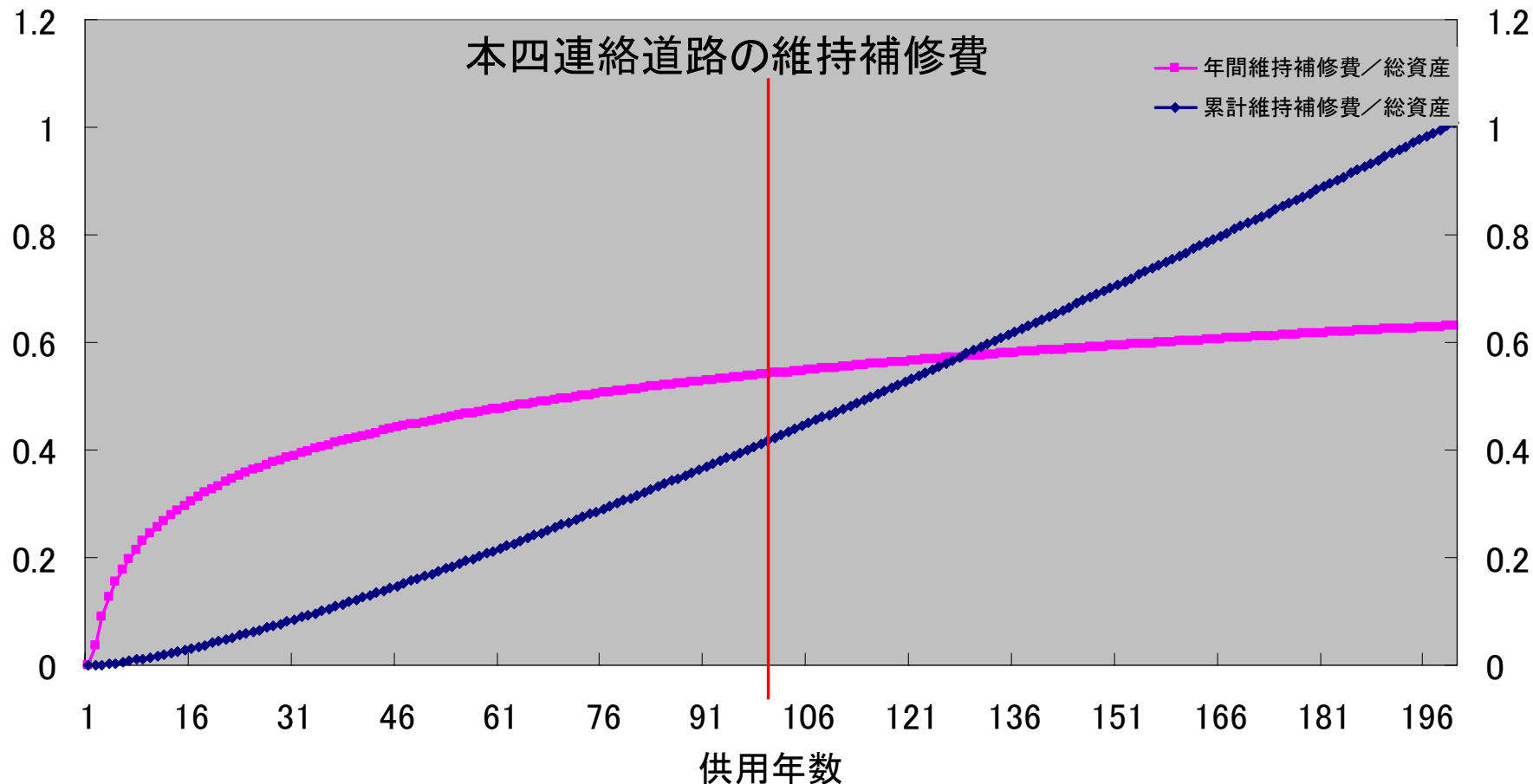


維持管理費の長期モデル化、試算データを平滑化したもの：概算値

- ・本四道路の総資産は約22,000億円(鉄道・土地を除く)
- ・資産に対する年間維持補修費は約0.5%
- ・供用期間200年で維持補修費の累計は総資産額とほぼ同額

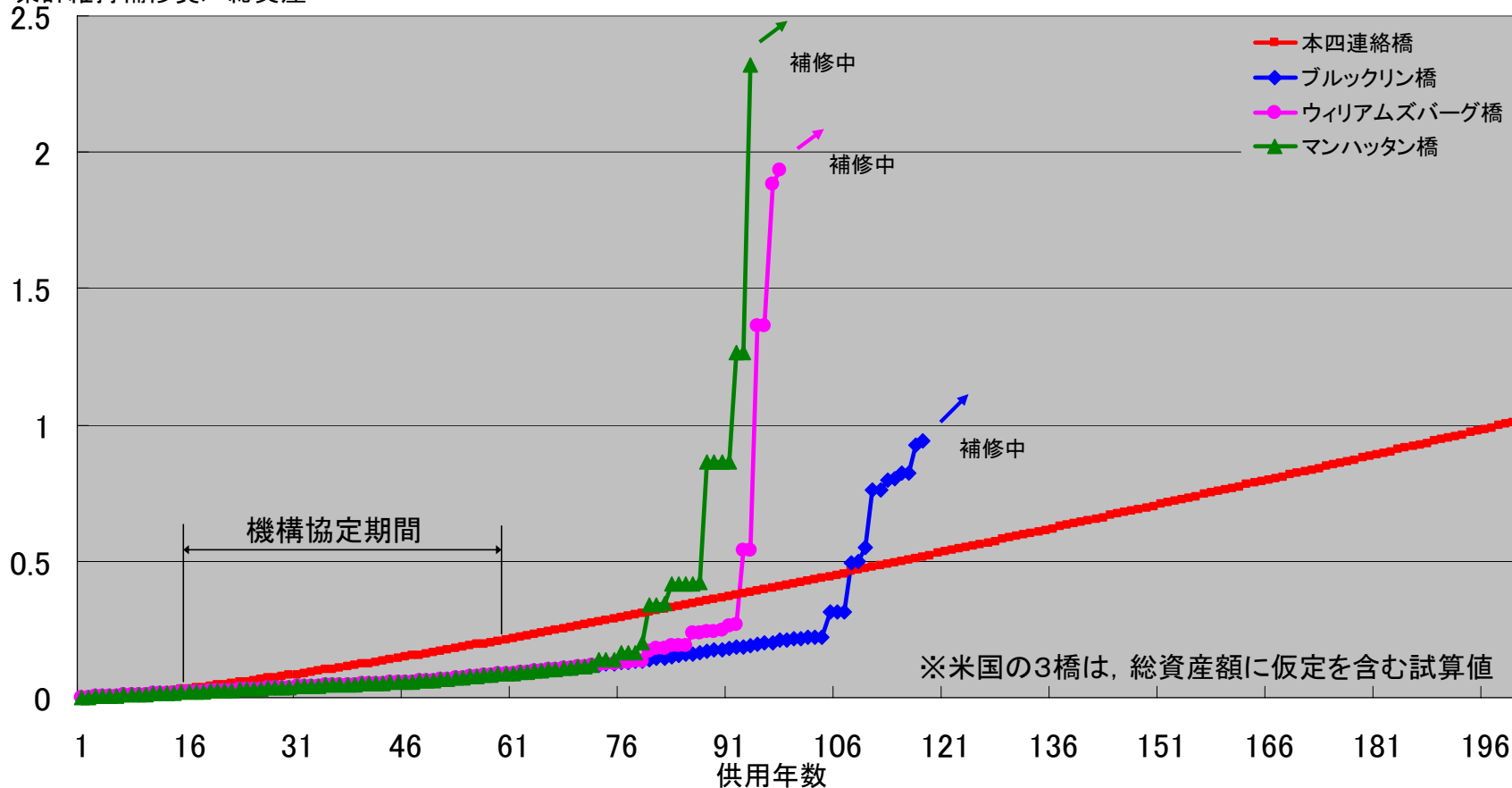
年間維持補修費／総資産 (%)

累計維持補修費／総資産



- ・アメリカの高齢の吊橋は管理を怠ったため既に建設費以上の補修費を投入
- ・維持補修費を抑制すれば機構協定期間終了後、アメリカの橋と同じ運命をたどる

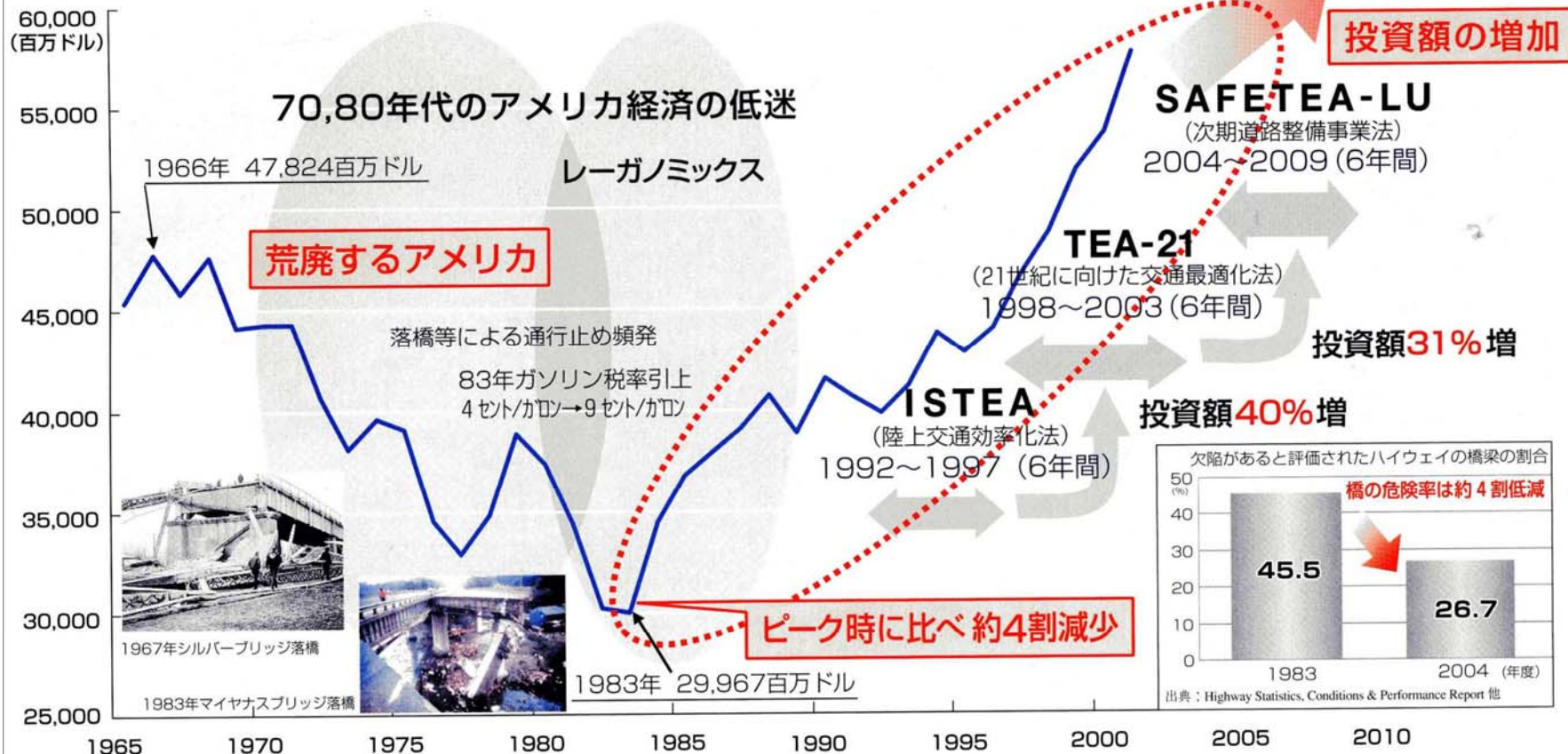
累計維持補修費／総資産



米国の道路投資額推移

- ・アメリカは、70～80年代で”荒廃するアメリカ”と言われ、落橋や橋の通行止めが頻発
- ・その教訓から、予防的安全対策に投資し、橋の危険率も約4割低減(1983年→2004年)

米国道路投資額推移 (GDPベース・実質値)



経営理念・行動規範

民間会社の経営目標

—売り上げ 利益 配当率

—新商品 新市場 新技術 に代わるもの

(1) 経営理念

Bridge: Communication & Technology

私たちは、本州と四国を結ぶ世界に誇る橋を良好に保つことにより、人と物の交流と地域の連携を推進し、経済の発展と生活の向上に寄与します。

また、これまで培ってきた橋の建設、管理技術を活用して、広く社会に貢献します

1. お客様に安全、安心、快適に利用していただけるよう、サービスの充実に努めます。
2. 200年以上の長期にわたり利用される橋をめざし、万全な維持管理に努めます
3. 橋梁技術のフロントランナーとして、技術の継承・高度化を推進します。
4. 瀬戸内の美しい自然を大切にし、環境に配慮します。
5. 公正で効率的な運営により、経営の安定と成長をめざします。

(2) 行動規範

1. 経営理念の実現に向け、誇りと自信を持って挑戦します。
2. お客様の視点を大切にし、お客様との対話に努めます。
3. 現場重視で、素早く決断し、課題を解決します。
4. 自立・自律の精神で仕事に臨み、創意工夫と自己研鑽に努めます。
5. 社員相互の信頼と理解を深め、明るく、風通しのよい職場をつくります。
6. 会社を支える気概を持ち、会社の発展をねがい、自らの幸せを築きます。